

令和5年第4回定例会 防災環境産業委員会資料

| | 頁 |
|--|---|
| 1 最近の経済・雇用情勢について | 2 |
| 2 令和5年台風第13号に伴う大雨による被災事業者に対する支援等 | 3 |
| 3 付託案件 | 3 |

令和5年12月14日
産 業 戦 略 部

1 最近の経済・雇用情勢について

(1) 「月例経済報告」における基調判断（令和5年11月22日：内閣府）

- ・ 景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
- ・ 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

(2) 茨城県金融経済概況（令和5年11月8日：日本銀行水戸事務所）

- ・ 県内景気は、物価上昇や海外経済減速の影響を受けつつも、緩やかに回復している。
- ・ 主要支出項目等をみると、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。住宅投資は弱い動きとなっている。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、9月企業短期経済観測調査結果（茨城県）では、2023年度は前年度をやや上回る計画となっている。生産は、海外経済減速の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとの、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。
- ・ なお、金融面をみると、預金、貸出ともに増加した。貸出約定平均金利は横ばいであった。

【個人消費】9月の百貨店・スーパー販売額は、6か月連続で前年を上回った。10月の乗用車新車登録台数は、10か月連続で前年を上回った。家電販売は、物価上昇を背景とした消費者の生活防衛意識の強まりなどから、弱含んでいる。

【生産】8月の鉱工業生産指数(原指数)は、5か月振りに前年を下回った。海外経済減速の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとの、横ばい圏内の動きとなっている。

(3) 雇用情勢（令和5年12月1日：総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」）

| | | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 完全失業率 (%) (季節調整値) | | 2.8 | 2.6 | 2.6 | 2.5 | 2.7 | 2.7 | 2.6 | 2.5 |
| 完全失業者数 (万人) (原数値) | | 193 | 190 | 188 | 179 | 183 | 186 | 182 | 175 |
| 有効求人倍率 (季節調整値) | 全国 | 1.32 | 1.32 | 1.31 | 1.30 | 1.29 | 1.29 | 1.29 | 1.30 |
| | 茨城県 | 1.46 | 1.41 | 1.39 | 1.35 | 1.37 | 1.36 | 1.42 | 1.42 |

※完全失業率と有効求人倍率の季節調整値は、毎年1月分結果公表時に、過去に遡って改訂

2 令和5年台風第13号に伴う大雨による被災事業者に対する支援等

(1) 県内中小企業の被害状況

| 団体名 | 被害業者数 (件) | 推計被害額 (百万円) |
|-----------|-----------|-------------|
| 日立市 | 49 | 1,030 |
| 高萩市 | 53 | 35 |
| 北茨城市 | 45 | 691 |
| その他の市町村 | 19 | 14 |
| 合計 (10市村) | 166 | 1,770 |

※ 商工会・商工会議所・市町村を通じて、被害状況調査を実施。

(調査実施期間：令和5年9月11日～10月2日)

(2) 被災事業者再建支援事業

(付託案件：第118号議案 令和5年度茨城県一般会計補正予算(第5号) 関係)

令和5年台風第13号に伴う大雨により被害を受けた、災害救助法適用3市(日立市、高萩市、北茨城市)の被災事業者に対して、国と県、市が連携し、復旧費の一部を支援するもの

3 付託案件

(1) 第118号議案 令和5年度 茨城県一般会計補正予算(第5号)

○ 歳出予算補正(産業戦略部分)

【部局別】〔令和5年第4回茨城県議会定例会議案概要説明書 4ページより〕

(単位：千円)

| 事項 | 予算額 | 特定財源 | 一般財源 |
|-------|---------|---------|---------|
| 産業戦略部 | 215,400 | 100,000 | 115,400 |

【補正予算概要】〔令和5年第4回茨城県議会定例会議案概要説明書 9ページより〕

(単位：千円)

| 事項 | 予算額 | 特定財源種目金額 | 一般財源 | 備考 |
|--------|---------|------------------|---------|-------------------------------|
| 中小企業課 | | | | |
| 経営支援費 | 215,400 | 国庫支出金 100,000 | 115,400 | 被災事業者再建支援事業費 国補(2/3) 県単 |
| 産業戦略部計 | 215,400 | 国庫支出金 100,000 | 115,400 | |

(2) 第156号議案 令和5年度 茨城県一般会計補正予算(第6号)

○ 歳出予算補正(産業戦略部分)

【部局別】〔令和5年第4回茨城県議会定例会議案概要説明書(第3綴) 4ページより〕

(単位:千円)

| 事 項 | 予 算 額 | 特定財源 | 一般財源 |
|-------|---------|---------|------|
| 産業戦略部 | 818,295 | 818,295 | - |

【補正予算概要】〔令和5年第4回茨城県議会定例会議案概要説明書(第3綴) 19ページより〕

(単位:千円)

| 事 項 | 予 算 額 | 特定財源種目金額 | 一般財源 | 備 考 |
|---------|---------|------------------|------|--|
| 中小企業課 | | | | |
| 経営支援費 | 810,202 | 国庫支出金 810,202 | - | 特別高圧受電施設等電気 料金支援事業費 国補(10/10) (現計1,765,000) |
| 労働政策課 | | | | |
| 労働環境整備費 | 8,093 | 国庫支出金 8,093 | - | いばらき業務改善奨励金 事業費 国補(10/10) |
| 産業戦略部計 | 818,295 | 国庫支出金 818,295 | - | |

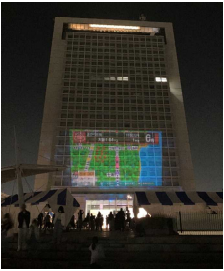

令和5年第4回定例会 防災環境産業委員会資料

○前回の委員会以降の主な事務事業の概要及び付託案件

| | 頁 |
|---|----|
| ・ いばらき e スポーツ産業創造プロジェクト事業について【産業政策課】 | 2 |
| ・ 被災事業者再建支援事業【中小企業課】 | 3 |
| (付託案件：第118号議案 令和5年度茨城県一般会計補正予算（第5号）関係） | |
| ・ 特別高圧受電施設等電気料金支援事業【中小企業課】 | 5 |
| (付託案件：第156号議案 令和5年度茨城県一般会計補正予算（第6号）関係） | |
| ・ いばらき業務改善奨励金事業【労働政策課】 | 7 |
| (付託案件：第156号議案 令和5年度茨城県一般会計補正予算（第6号）関係） | |
| ・ リスキリング推進事業について【産業人材育成課】 | 9 |
| ・ 笠間陶芸大学校の陶芸学科入学試験における試験問題の不備について | |
| 【技術革新課】 | 11 |
| ・ 「いばらき宇宙ビジネススーパーバイザー」の委嘱について【科学技術振興課】 | 12 |
| ・ 第20回江崎玲於奈賞・第34回つくば賞・第33回つくば奨励賞の決定について | |
| 【科学技術振興課】 | 13 |
| ・ 第4回いばらきイノベーションアワードの決定について【科学技術振興課】 | 16 |

令和5年12月14日
産 業 戦 略 部

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

| 項 目 | いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト事業について |
|---|--|
| <p>1 目 的</p> <p>「eスポーツの拠点・茨城」のブランド化や関連産業の活性化を図るため、注目される大会・イベントの誘致・開催や、デジタル人材の育成等、特色ある取組を通じた県内eスポーツの裾野拡大に取り組む。</p> <p>2 事業概要</p> | <p>(1) R5.11.4 (土) の「いばらきDCプレイパークイベント」に合わせた、鉄道ゲーム「桃太郎電鉄」を活用したeスポーツイベントの開催</p> <p>ア 自由参加形式のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁舎 2 階県民ホール内に体験ブースを設置、プレイパークイベント来場者に、MC、実況付きの体験プレイを楽しんでもらう体験イベント。 ・ 未就学児～小学生とその保護者など約 1 2 0 名が来場、実況付きの対戦による盛り上がりを見せた。 <p>イ ゲスト等によるエキシビジョンマッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁舎 2 階ペDESTリアンデッキの屋外ステージを舞台に、ゲスト等によるエキシビジョンマッチの様子を県庁舎の壁面に投影。実況、解説、ゲストにより、明るく対戦を盛り上げ。 ・ 各ゲストのファンをはじめ約 3 0 0 名が来場、県庁舎壁面に映し出されたゲームの様子を楽しんだ。  <p>(2) NASEF FARMCRAFT®いばらきコンテスト2023の開催</p> <p>ア 内容：高校生がMINECRAFT上での農業経営を通じて課題解決を考え、プレゼンテーションするコンテストを、NASEF JAPAN (NPO法人北米教育eスポーツ連盟日本本部) と共催。</p> <p>各校とも、FARMCRAFTで農場を経営しながら、「無農薬栽培」や「コスト削減」、「機械化」といった持続可能な農業に関する課題解決策を導き出すなど、ゲームを通じて課題解決力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力等の向上を図った。</p> <p>イ 期間：R5.7月～10月</p> <p>ウ 参加：県内高校 6 校 8 チーム</p> <p>エ 結果：1 次審査での上位 3 チームについて、1 1 月 1 2 日 (日) に水戸オーパで最終審査・表彰式を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最優秀賞 IT 未来高校 優秀賞 水戸工業高校 入賞 水戸啓明高校 NASEF JAPAN 特別賞 太田第一高校  |

主要事業等の概要（案）

産業戦略部中小企業課

| <p>事業名又は 議案の名称</p> | <p>被災事業者再建支援事業【新規】</p> | | | | | | | | | | |
|--|--|-------|-------|------------|---------|---------------------|-------|-------------------|-------|-----------------|------|
| <p>1 予算額</p> | <p>215,400千円</p> | | | | | | | | | | |
| <p>2 現況・課題</p> | <p>令和5年台風第13号に伴う大雨により、県北部の3市（日立市、高萩市、北茨城市）において、水産加工業をはじめとした製造業等に被害が発生し、その被害額が約17億円に上るなど、地域経済に影響が生じている。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>3 必要性・ねらい</p> | <p>中小企業は、地域の経済及び雇用を支える担い手として重要であることから、被災事業者の本格復旧や事業継続につながるよう、被災建物・設備に係る迅速な復旧支援を行う必要がある。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体 計画等)</p> | <p>被災事業者を対象に、国と県、市が連携し、復旧費の一部を補助する。</p> <p>【補助対象】 災害救助法が適用された3市（日立市、高萩市、北茨城市）に所在する被災事業者</p> <p>【対象経費】 建物、機械設備、業務用車両等の修繕及び購入費などの復旧費用</p> <p>【補助条件】 <補助率> 規模別に設定 ①小規模事業者：県が復旧費の2/3以内を補助(国2/3、県1/3) ②中小企業者：市が復旧費の1/2以内を補助(県2/3*、市1/3) *被災中小企業者へ補助を行う市への補助</p> <p><補助上限> 復旧費に応じて4段階に設定</p> <table border="1" data-bbox="491 1514 1222 1711"> <thead> <tr> <th>復旧費区分</th> <th>補助上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①5,000万円以上</td> <td>1,000万円</td> </tr> <tr> <td>②1,000万円以上5,000万円未満</td> <td>700万円</td> </tr> <tr> <td>③500万円以上1,000万円未満</td> <td>200万円</td> </tr> <tr> <td>④100万円以上500万円未満</td> <td>50万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>*復旧費100万円未満は補助対象外</p> <p>【申請開始】 2024年1月を予定</p> | 復旧費区分 | 補助上限額 | ①5,000万円以上 | 1,000万円 | ②1,000万円以上5,000万円未満 | 700万円 | ③500万円以上1,000万円未満 | 200万円 | ④100万円以上500万円未満 | 50万円 |
| 復旧費区分 | 補助上限額 | | | | | | | | | | |
| ①5,000万円以上 | 1,000万円 | | | | | | | | | | |
| ②1,000万円以上5,000万円未満 | 700万円 | | | | | | | | | | |
| ③500万円以上1,000万円未満 | 200万円 | | | | | | | | | | |
| ④100万円以上500万円未満 | 50万円 | | | | | | | | | | |
| <p>5 参考事項 (過去の実績、他 県の状況、関連デ ータ等)</p> | <p>他県の同様事業の実施状況（補正予算額） <令和5年梅雨前線豪雨関係中小企業者等支援事業> 秋田県(3.24億円)、福岡県(2.66億円)、石川県(0.49億円)</p> | | | | | | | | | | |



被災事業者再建支援事業費（新規）

【R5.12月補正予算額 215百万円】

産業戦略部中小企業課被災事業者支援対策室（029-301-3485）

令和5年台風第13号に伴う大雨により被害を受けた事業者に対して、国と県、市が連携し、復旧費の一部を支援します。

補助対象

災害救助法適用3市（日立市、高萩市、北茨城市）の被災事業者

対象経費

建物の修繕費、機械設備の修繕及び購入費、業務用車両の修繕及び購入費、清掃委託費、撤去費などの復旧費用

補助率・補助上限

<補助率>①小規模事業者：2/3以内 ②中小企業者：1/2以内

<補助上限>復旧費に応じて補助上限額を4段階に設定

| 復旧費区分 | 補助上限額 |
|---------------------|---------|
| ①5,000万円以上 | 1,000万円 |
| ②1,000万円以上5,000万円未満 | 700万円 |
| ③ 500万円以上1,000万円未満 | 200万円 |
| ④ 100万円以上 500万円未満 | 50万円 |

申請開始時期

2024年1月～（予定）

主要事業等の概要（案）

産業戦略部中小企業課

| 事業名又は議案の名称 | 特別高圧受電施設等電気料金支援事業 | | | | | | | | | |
|------------|---|--|----|----|------|--------------------|------|---|------|------------------------------|
| 1 予算額 | 810,202千円 | | | | | | | | | |
| 2 現況・課題 | 電気料金が高騰する中、低圧及び高圧受電施設は国の電気料金支援事業の対象となっているが、特別高圧受電施設等は対象外となっている。 | | | | | | | | | |
| 3 必要性・ねらい | 国の電気料金支援事業の対象外となっている特別高圧で受電する中小企業（商業施設等の入居テナント含む）等に対し、電気料金の一部を引き続き支援する。 | | | | | | | | | |
| 4 事業の内容 | <p>○概要</p> <table border="1" data-bbox="467 779 1401 1227"> <thead> <tr> <th data-bbox="467 779 646 846">項目</th> <th data-bbox="646 779 1401 846">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="467 846 646 902">対象期間</td> <td data-bbox="646 846 1401 902">2023年10月分～2024年4月分</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 902 646 1115">対象施設</td> <td data-bbox="646 902 1401 1115"> <ul style="list-style-type: none"> ・特別高圧で受電する中小企業（約30件） ・商業施設等に入居するテナント（約600件） ※大企業を除く ・病院（3件） ※地方公共団体が管理する施設を除く </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1115 646 1227">支援単価</td> <td data-bbox="646 1115 1401 1227"> 1. 8円/kWh ※国が支援する高圧に準じた単価 </td> </tr> </tbody> </table> | | 項目 | 内容 | 対象期間 | 2023年10月分～2024年4月分 | 対象施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別高圧で受電する中小企業（約30件） ・商業施設等に入居するテナント（約600件） ※大企業を除く ・病院（3件） ※地方公共団体が管理する施設を除く | 支援単価 | 1. 8円/kWh ※国が支援する高圧に準じた単価 |
| 項目 | 内容 | | | | | | | | | |
| 対象期間 | 2023年10月分～2024年4月分 | | | | | | | | | |
| 対象施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別高圧で受電する中小企業（約30件） ・商業施設等に入居するテナント（約600件） ※大企業を除く ・病院（3件） ※地方公共団体が管理する施設を除く | | | | | | | | | |
| 支援単価 | 1. 8円/kWh ※国が支援する高圧に準じた単価 | | | | | | | | | |
| 5 参考事項 | 関東近県の同様事業の実施状況 ※12月1日現在 ○実施：群馬県（11月補正）・栃木県（現計予算で対応） ○検討中：東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県 | | | | | | | | | |



特別高圧受電施設等電気料金支援事業

【R5.12月補正予算額 810百万円】

産業戦略部中小企業課経営支援室（029-301-3550）

電気料金が高騰する中、国の電気料金支援の対象外となっている特別高圧契約で受電する中小企業（商業施設等の入居テナント含む）等に対し、電気料金の一部を継続して支援します。

対象期間

- 2023年10月分～2024年4月分
※国の支援期間（低圧・高圧）に準ずる

対象施設

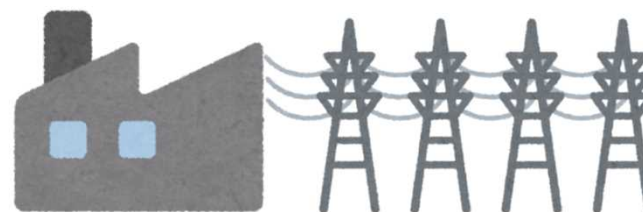
- 特別高圧契約で受電する中小企業（商業施設等に入居するテナント含む）等、病院

支援単価

- 1. 8円/kWh
※国の支援単価（高圧）と同額

【参考】現在の支援内容

- 対象期間 2023年4月分～9月分
- 支援単価 3. 5円/kWh（9月分のみ1. 8円/kWh）



主要事業等の概要（案）

産業戦略部労働政策課

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---------------|------|--------------|--------------|---------------|------|-------|--------|--------|
| <p>事業名又は議案の 名 称</p> | <p>いばらき業務改善奨励金事業【新規】</p> | | | | | | | | | | |
| <p>1 予 算 額</p> | <p>8, 0 9 3 千円</p> | | | | | | | | | | |
| <p>2 現況・課題</p> | <p>2023 年春季労使交渉の賃上げ率が 30 年ぶりの高水準、同年の最低賃金が過去最高の引き上げ額となる中、中小企業の賃上げを一層図るため、より強いインセンティブが必要である。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>3 必要性・ねらい</p> | <p>物価高の影響を受ける中小企業等の設備投資等を支援することで、生産性向上を図り、持続的な賃上げを促進する。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)</p> | <p>助成 対象者</p> | <p>事業場内最低賃金を 30 円以上引き上げ、990 円以上とし、生産性向上のための設備投資等を行う中小企業・小規模事業者等 (R6.1 月以降に国の業務改善助成金の交付決定を受けていること)</p> | | | | | | | | | |
| <p>助成率 ・ 上限</p> | <p>○助成率 業務改善助成金（国）の自己負担分の 1 / 2</p> <table border="1" data-bbox="662 1131 1380 1288"> <tr> <td>国助成率</td> <td>3 / 4 の場合</td> <td>4 / 5 の場合</td> <td>9 / 10 の場合</td> </tr> <tr> <td>県助成率</td> <td>1 / 8</td> <td>1 / 10</td> <td>1 / 20</td> </tr> </table> <p>○助成上限額：最大 100 万円</p> | | | 国助成率 | 3 / 4 の場合 | 4 / 5 の場合 | 9 / 10 の場合 | 県助成率 | 1 / 8 | 1 / 10 | 1 / 20 |
| 国助成率 | 3 / 4 の場合 | 4 / 5 の場合 | 9 / 10 の場合 | | | | | | | | |
| 県助成率 | 1 / 8 | 1 / 10 | 1 / 20 | | | | | | | | |
| <p>助成 対象 経費</p> | <p>生産性向上のための設備投資等 例)・POS レジシステム、自動釣銭機・券売機の導入による業務の効率化 ・リフト付き特殊車両の導入による送迎時間の短縮</p> | | | | | | | | | | |
| <p>5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)</p> | <p><業務改善助成金（国）の概要> 【対象】・中小企業・小規模事業者等 ・事業場内最低賃金と地域別最低賃金が差額 50 円以内 ・解雇、賃金引き下げなどの不交付事由がないこと 【助成額】最大 600 万円(引き上げ額及び引き上げる労働者数による) 【助成率】 3/4～9/10(引き上げ額前の事業場内最低賃金額による)</p> | | | | | | | | | | |



いばらき業務改善奨励金事業（新規）

【R5.12月補正予算額 8百万円】

産業戦略部労働政策課労働経済・福祉G (029-301-3635)

物価高の影響を受ける中小企業等の設備投資等を支援することで、生産性向上を図り、持続的な賃上げを促進します。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|---|---------|--------|--------|---------|------|-----|------|------|--|--|----------------|--|--|--------------|---------|----------|
| 補助対象者 | 事業場内最低賃金を <u>30円以上引き上げ、990円以上とし</u> 、生産性向上のための設備投資等を行う中小企業・小規模事業者等 （R6.1月以降に国の業務改善助成金の交付決定を受けていること） | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 助成率・上限 | ○助成率 業務改善助成金(国)の自己負担分の1/2 ○助成上限額 最大100万円 | <table border="1"> <tr> <td>国助成率</td> <td>3/4の場合</td> <td>4/5の場合</td> <td>9/10の場合</td> </tr> <tr> <td>県助成率</td> <td>1/8</td> <td>1/10</td> <td>1/20</td> </tr> </table> | 国助成率 | 3/4の場合 | 4/5の場合 | 9/10の場合 | 県助成率 | 1/8 | 1/10 | 1/20 | 【助成イメージ】 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">補助対象経費160万円の場合</td> </tr> <tr> <td>業務改善助成金120万円</td> <td>県助成20万円</td> <td>自己負担20万円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ 自己負担分の1/2を県が助成</p> | | 補助対象経費160万円の場合 | | | 業務改善助成金120万円 | 県助成20万円 | 自己負担20万円 |
| 国助成率 | 3/4の場合 | 4/5の場合 | 9/10の場合 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県助成率 | 1/8 | 1/10 | 1/20 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助対象経費160万円の場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務改善助成金120万円 | 県助成20万円 | 自己負担20万円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 助成対象 | 生産性向上のための設備投資等 例) ・POSレジシステム、自動釣銭機・券売機の導入による業務の効率化 ・リフト付き特殊車両の導入による送迎時間の短縮 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

産業人材育成課

| 項 目 | リスクリング推進事業について |
|--------|--|
| 1 目 的 | <p>少子高齢化の進行による生産年齢人口の急激な減少や、デジタル化・脱炭素化の進展により、産業構造の急速な変革が見込まれる中、本県産業の持続的な発展を確固たるものとするためには、あらゆる施策を総動員し戦略的・体系的に政策展開を図る必要があるが、特に、人的資本の観点からは、全ての産業において必要とされるデジタルスキルを中心に、リスクリングを推進することにより、社会全体の生産性向上や賃金水準の向上の実現を図る必要がある。</p> |
| 2 事業概要 | <p>今年1月に設置した「茨城県リスクリング推進協議会」のもと、リスクリングを推進するための基本方針や具体の施策について議論を重ね、去る10月4日の第2回協議会において政策パッケージを公表した。</p> <p>【政策パッケージの概要】</p> <p>(1) 意識啓発・機運醸成</p> <p>ア 推進宣言制度の創設・先進企業の顕彰 リスクリング推進の宣言制度を創設し、先進的な取組を行う企業を顕彰 リスクリングの手順をまとめたマニュアルを作成し、取組を後押し (宣言項目) ①リスクリング推進体制の整備 ②リスクリング環境の整備 ③スキル習得機会の提供 ④評価・処遇の改善</p> <p>イ ワークショップ・シンポジウムの開催 (ア) 経営者向けワークショップ (R5. 6. 27) [講師] (一社) ジャパン・リスクリング・イニシアチブ 代表理事 後藤宗明氏 [内容] ・リスクリングの目的、必要性、先進事例 ・自社のSWOT分析と取り組むべきリスクリング施策 (イ) 人事担当者向けワークショップ (R5. 10. 13) [講師] 平井彩子事務所 代表取締役 平井彩子氏 [内容] ・リスクリングの概要と人事を取り巻く近年の環境変化 ・リスクリング推進に向けた組織づくり、取組の進め方 (ウ) 県民向けシンポジウム (R6. 2. 7予定) 先進企業の表彰、基調講演、パネルディスカッション</p> <p>ウ ポータルサイトの開設・運営 リスクリング関連の情報を一元的・タイムリーに発信</p> |

(2) スキル習得支援

ア スキルの見える化

成長産業・分野で求められるスキルとして、デジタルスキルとポータブルスキルを整理

[デジタルスキル] データ分析、システム設計、AI、UXデザイン、セキュリティ 等

[ポータブルスキル] 問題発見能力、将来を見通す力、革新性、戦略的思考 等

イ 認定講座（実践講座）の設置

デジタルリテラシー能力の実践における活用講座を実施
修了者には、オープンバッジ（デジタルによる資格証明）を付与

(ア) 生産管理の効率化（対象：製造業）

[日程] R5.11.20～R6.2.22（全7回）

[内容] 座学、先進企業見学、ケースワーク企業（受講者企業）見学、デジタル化計画作成、発表会

(イ) 顧客管理の効率化（対象：業種横断）

[日程] R6.1.19～3.7（全6回）

[内容]（同上）

ウ AI マatchingシステムの構築

職種や職歴・年齢・保有資格、アンケート等から、各人に適した職種及びリスキリング講座を提案

リスキリングアドバイザーによるキャリアコンサルティングにも活用

※年度内に運用予定

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

技術革新課

| 項 目 | 笠間陶芸大学校の陶芸学科入学試験における試験問題の不備について | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------|-----|----------|-------------------------|--|-----|-----|-------|------|---------------|----------|-----|----------|-------------------------|
| <p>1 事案の概要</p> <p>令和5年11月19日(日)に実施した笠間陶芸大学校の陶芸学科入学試験において、筆記試験で記載ミスがある問題用紙を配付する不適切な事案が発生した。</p> <p>(1) 陶芸学科入学試験の概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">試験日</th> <th style="width: 20%;">受験者</th> <th style="width: 20%;">合格発表日</th> <th style="width: 20%;">選考内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">陶芸学科 定員12名</td> <td style="text-align: center;">11/19(日)</td> <td style="text-align: center;">32名</td> <td style="text-align: center;">11/28(火)</td> <td style="text-align: center;">①筆記試験 ②実技試験 ③面接試験</td> </tr> </tbody> </table> <p>○入学試験は筆記・実技・面接試験により実施しており、陶芸への関心や意欲などを特に重視し選考している。</p> <p>(2) 不備の内容</p> <p>ア 概要</p> <p>①選択式の設問(1問)で正答を記載した問題用紙を配付した。 ②選択式の設問(1問)で同じ回答の選択肢を記載した問題用紙を配付した。 ※①②いずれも筆記試験の試験中に受験者からの指摘により判明した。</p> <p>イ 事案発生の原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験問題の正答を記載した状態で事前のチェックをしており、チェック後配付用の問題用紙を印刷する際に正答を削除し忘れた。 ・試験問題の事前確認においてチェック漏れがあった。 <p>ウ 対応</p> <p>①について全員正解とし、また、②についていずれの選択肢を選んでも良い旨を試験中に受験者全員に伝えたことにより、合否に影響はない。</p> <p>2 今後の対応</p> <p>(1) 再発防止策の構築・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陶芸大学校内で再発防止会議の実施 ○リスクマネジメント研修の実施 <p>(2) 職員の処分</p> <p>処分の判断は総務部と調整中</p> | | | | | | 試験日 | 受験者 | 合格発表日 | 選考内容 | 陶芸学科 定員12名 | 11/19(日) | 32名 | 11/28(火) | ①筆記試験 ②実技試験 ③面接試験 |
| | 試験日 | 受験者 | 合格発表日 | 選考内容 | | | | | | | | | | |
| 陶芸学科 定員12名 | 11/19(日) | 32名 | 11/28(火) | ①筆記試験 ②実技試験 ③面接試験 | | | | | | | | | | |

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

科学技術振興課

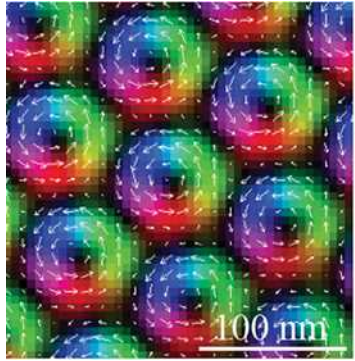
| 項 目 | 「いばらき宇宙ビジネススーパーバイザー」の委嘱について |
|--|-----------------------------|
| <p>1 「いばらき宇宙ビジネススーパーバイザー」の概要</p> <p>(1) 目 的 本県における宇宙ビジネスの一層の裾野拡大を図るため、宇宙分野全般に広く・深く精通されている方に、総合的な見地から「いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト」に協力・助言いただくことを目的として、本年度新たに創設</p> <p>(2) 主な活動内容 ア 宇宙開発利用に関する県内企業等の興味・関心の喚起（宇宙ビジネスイベント登壇等） イ 宇宙開発利用に関する県民の理解増進（講演等） ウ プロジェクト全般に対する助言</p> <p>(3) 任 期 2年間（委嘱の日から翌年度末まで。再任を妨げない）</p> <p>2 委 嘱</p> <p>(1) 委 嘱 者 土井 隆雄 氏（宇宙飛行士、京都大学大学院特定教授）</p> <p>(2) 委 嘱 日 令和5年9月28日（県庁において大井川知事から委嘱状を交付）</p> <p>(3) 委嘱理由 宇宙活動における豊富な経験や宇宙開発利用に関する高い見識、宇宙分野で多様なネットワークを有し、また、本県との深い関わり※があるため</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※平成20年のスペースシャトル・エンデバー搭乗時に本県の県旗を機内に持ち込み、帰還後に県庁での返還式に出席。茨城県民栄誉賞受賞（平成9年度、20年度）、いばらき大使就任（平成20～21年）</p> </div> <p>(4) 活 動 委嘱日（9月28日）に、つくば市内で開催した宇宙ビジネス関連イベント「IBARAKI Next Space Pitch #4 Pre Event」において、県内外の宇宙ベンチャーや宇宙ビジネスでの創業を考える起業家等に向け、「宇宙への挑戦」と題して講演いただいた。 （イベント参加者数：98名 会場参加+オンライン参加）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="300 1624 689 1921" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="922 1624 1369 1921" data-label="Image"> </div> </div> | |

[委嘱状交付の様子]

[講演の様子]


前回の委員会以降の主な事務事業の概要

科学技術振興課

| 項 目 | 第20回江崎玲於奈賞・第34回つくば賞・第33回つくば奨励賞の決定について | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|----|------|--------|--------|--------------------------|------|-------|-------------------------|--------|-------|-------------------------|--|
| <p>1 目 的</p> <p>科学技術の研究開発に関わる研究者を顕彰することにより研究意欲を高め、本県における科学技術の基礎的・創造的な研究開発を促進し、科学技術の振興を図る。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2 事業概要</p> <p>(1) 主 催 (一財) 茨城県科学技術振興財団、つくばサイエンス・アカデミー</p> <p>(2) 共 催 茨城県、つくば市 (つくば賞、つくば奨励賞)</p> <p>(3) 協 賛 関彰商事株式会社 (江崎玲於奈賞)</p> <p>(4) 決定日 令和5年11月20日 (月)</p> <p>(5) 賞の対象</p> <p>【 江崎玲於奈賞 (1名) 】</p> <p>日本国内の研究機関において、ナノサイエンスあるいはナノテクノロジー、ならびに量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、世界的に評価を受ける顕著な研究業績を挙げた研究者。</p> <p>【 つくば賞 (1名又は1組) ・つくば奨励賞 (各部門1名又は1組) 】</p> <p>茨城県内において科学技術に関する研究に携わり、顕著な研究成果を収めた研究者。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(6) 賞の内容</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>創設</th> <th>賞の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江崎玲於奈賞</td> <td>平成16年度</td> <td>賞状、副賞 (1,000万円) 、記念品 (盾)</td> </tr> <tr> <td>つくば賞</td> <td>平成元年度</td> <td>賞状、副賞 (500万円) 、記念品 (賞牌)</td> </tr> <tr> <td>つくば奨励賞</td> <td>平成2年度</td> <td>賞状、副賞 (100万円) 、記念品 (賞牌)</td> </tr> </tbody> </table> | 名称 | 創設 | 賞の内容 | 江崎玲於奈賞 | 平成16年度 | 賞状、副賞 (1,000万円) 、記念品 (盾) | つくば賞 | 平成元年度 | 賞状、副賞 (500万円) 、記念品 (賞牌) | つくば奨励賞 | 平成2年度 | 賞状、副賞 (100万円) 、記念品 (賞牌) | |
| 名称 | 創設 | 賞の内容 | | | | | | | | | | | | |
| 江崎玲於奈賞 | 平成16年度 | 賞状、副賞 (1,000万円) 、記念品 (盾) | | | | | | | | | | | | |
| つくば賞 | 平成元年度 | 賞状、副賞 (500万円) 、記念品 (賞牌) | | | | | | | | | | | | |
| つくば奨励賞 | 平成2年度 | 賞状、副賞 (100万円) 、記念品 (賞牌) | | | | | | | | | | | | |
| <p>3 受賞者</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(1) 第20回江崎玲於奈賞</p> <p>「スピン渦結晶の直接観察とその物性の研究」</p> <p>理化学研究所 創発物性科学研究センター センター長 十倉 好紀氏</p> <p>理化学研究所 創発物性科学研究センター 電子状態マイクロSCOPIE研究チーム</p> <p>チームリーダー 于 秀珍氏</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>研究概要</p> | <p>スピン渦とは、固体中の電子が持つスピン(極微小の磁石)が形成するスキルミオンと呼ばれる磁気構造のことであり、十倉氏と于氏は「ローレンツ透過型電子顕微鏡」という特殊な顕微鏡によって、スキルミオンを直接観察することに世界で初めて成功した。</p> <p>さらに、室温以上の温度域でスキルミオンを形成することに成功したほか、極めて弱い電流でスキルミオンを稼働できることなどを次々と発見した。</p> <p>この研究成果は、大容量情報記録媒体等への応用が期待されている。</p> |  <p>スキルミオンのイメージ図 スピン(矢印)が立体的な渦巻き構造</p> | | | | | | | | | | | | |

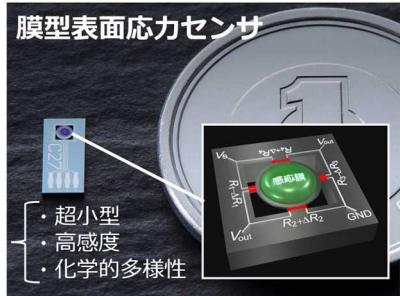

(2) 第34回つくば賞

「ゲノム編集技術を含む新たな育種技術の基盤構築と社会実装への展開」
筑波大学 生命環境系 教授 江面 浩氏

| | | |
|-------------|---|--|
| <p>研究概要</p> | <p>江面氏は、トマトの「ナショナルバイオリソースプロジェクト(文科省)」を主導し、大規模変異体集団を構築することで、トマトを含めたナス科植物に関する開発研究を効率的に推進できるような研究基盤を整備した。</p> <p>さらに、トマトの品種改良に重要な遺伝子の同定と機能解明に貢献した。加えて、それらの知見とゲノム編集技術を融合することで、健康機能性成分であるガンマ-アミノ酪酸 (GABA) を高蓄積するトマトを開発、令和3年から市販され、ゲノム編集技術を活用した一般流通食品として世界第1号の事例となった。</p> <p>また、大学発ベンチャー企業を設立してゲノム編集作物の社会実装の道を切り拓くなど、国内のみならず海外においても大きな反響を呼んでおり、今後の植物科学および作物育種の発展に大きく貢献することが期待されている。</p> |  <p>市販されたゲノム編集トマト： GABA 高蓄積トマト</p> <p>ヒトの血圧を下げる、ストレスを緩和する、睡眠の質を高める、肌の健康を守るなどの効果がある。</p> |
|-------------|---|--|

(3) 第33回つくば奨励賞 (実用化研究部門)

「膜型表面応力センサ(MSS)を用いた嗅覚センサの総合的研究・開発と社会実装」
物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター バイオ材料分野
主任研究員 今村 岳氏、主任研究員 南 皓輔氏、グループリーダー 吉川 元起氏

| | | |
|-------------|--|--|
| <p>研究概要</p> | <p>人の五感 (視覚、聴覚、味覚など) は、様々な形でセンサ化が実現されてきたが、嗅覚センサに関しては40年以上研究開発が行われてきたにもかかわらず、社会実装に至っていなかった。</p> <p>今村氏らは、膜型表面応力センサを用いたニオイセンサの研究開発を行い、センサ応答を理論式で解析・再現することに成功し、さらにナノ材料や生体材料を含む独自材料の開発により様々なニオイの高感度検知を実現してきた。</p> <p>加えて、データサイエンスを用いた新たなシグナル解析法を開発しており、クラウド上に蓄積されたデータを基にオンラインで高精度にニオイ識別ができるシステムが稼働している。NIMS発ベンチャー「株式会社Qception」を設立し、社会実装を開始しており、今後の事業展開が期待されている。</p> |  <p>膜型表面応力センサ</p> <ul style="list-style-type: none"> 超小型 高感度 化学的多様性 <p>ニオイセンサの研究開発</p> <p>基礎・応用研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 理論モデル構築 材料開発 データ解析 実試料での測定 <p>社会実装</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場実証 産学官連携 ベンチャー企業設立  |
|-------------|--|--|

(4) 第33回つくば奨励賞 (若手研究者部門)

「スピнкаロリトロニクスに関する基盤研究」

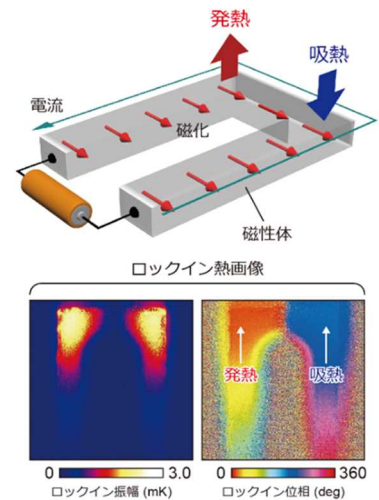
物質・材料研究機構 磁性・スピントロニクス材料研究センター
スピエンエネルギーグループ 上席グループリーダー 内田 健一氏

研究概要

内田氏は、電子の持つスピンと電荷が熱と相互作用する融合的な研究分野である「スピнкаロリトロニクス」に関する研究を世界に先駆けて開拓し、この分野のパイオニアとして評価されている。

主な功績として、平成20年に「スピンゼーベック効果」を発見、さらに平成28年に物質・材料研究機構に着任して以降、「異方性磁気ペルチェ効果」や「磁気トムソン効果」と呼ばれる物理現象を次々と発見、観測することに世界で初めて成功するなど顕著な研究業績を挙げている。

また、内田氏は、昨年36歳という異例の若さで科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業ERATO」の「内田磁性熱動体プロジェクト」の研究総括に抜擢されるなど、将来の大きな飛躍が期待されている。



異方性磁気ペルチェ効果の熱イメージング計測
電流と磁化の相対角度に依存して吸発熱が発生する。

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

| 項 目 | 第4回いばらきイノベーションアワードの決定について | | | | | | | |
|---|---|------------|-----|-------------------------------|--------------------|---|--|---|
| 1 目的 | 先端技術を活用した革新的な新製品・新サービスを対象に表彰を実施することで、より一層の製品化や地域経済を支える新産業の成長を促進する。 | | | | | | | |
| 2 事業概要 | <p>(1) 主 催 いばらきイノベーションアワード実行委員会</p> <p>(2) 対 象 概ね3年以内に発売された先端技術を活用した新製品・新サービス</p> <p>(3) 授賞式 令和5年12月7日(木)</p> <p>(4) 受賞者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大 賞(1件)：賞状及び記念品、賞金100万円 | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">受賞製品・サービス名</th> <th style="width: 50%;">受賞者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TIISA® Superinsulation</td> <td>株式会社Thermalytica</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <概要> <u>世界初の液体のような流動性を持つ高性能固体断熱材</u> -253℃から1,000℃以上と非常に幅広い温度領域において高い断熱性能を示す。 </td> </tr> </tbody> </table> | 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | TIISA® Superinsulation | 株式会社Thermalytica | <概要> <u>世界初の液体のような流動性を持つ高性能固体断熱材</u> -253℃から1,000℃以上と非常に幅広い温度領域において高い断熱性能を示す。 | |   |
| 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | | | | | | | |
| TIISA® Superinsulation | 株式会社Thermalytica | | | | | | | |
| <概要> <u>世界初の液体のような流動性を持つ高性能固体断熱材</u> -253℃から1,000℃以上と非常に幅広い温度領域において高い断熱性能を示す。 | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">受賞製品・サービス名</th> <th style="width: 50%;">受賞者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LCI</td> <td>株式会社Octa Robotics</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <概要> <u>自律移動型サービスロボットをエレベーター・自動ドア等の設備と連携させるサービス</u> ロボットのメーカーに関わらず、クラウドからロボットとエレベーター等を従来よりもシンプルかつ安価に一元管理・運用できる。 </td> </tr> </tbody> </table> | 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | LCI | 株式会社Octa Robotics | <概要> <u>自律移動型サービスロボットをエレベーター・自動ドア等の設備と連携させるサービス</u> ロボットのメーカーに関わらず、クラウドからロボットとエレベーター等を従来よりもシンプルかつ安価に一元管理・運用できる。 | | |
| 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | | | | | | | |
| LCI | 株式会社Octa Robotics | | | | | | | |
| <概要> <u>自律移動型サービスロボットをエレベーター・自動ドア等の設備と連携させるサービス</u> ロボットのメーカーに関わらず、クラウドからロボットとエレベーター等を従来よりもシンプルかつ安価に一元管理・運用できる。 | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">受賞製品・サービス名</th> <th style="width: 50%;">受賞者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中性子線照射による生物資源育種サービス</td> <td>株式会社クオンタムフラワーズ&フーズ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <概要> <u>中性子線照射による突然変異の誘発を利用し、生物資源の開発改良を行うサービス</u> 中性子線の特性を最適に利用する技術を確立することで、国内外で例のない中性子線育種を実用化した。 </td> </tr> </tbody> </table> | 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | 中性子線照射による生物資源育種サービス | 株式会社クオンタムフラワーズ&フーズ | <概要> <u>中性子線照射による突然変異の誘発を利用し、生物資源の開発改良を行うサービス</u> 中性子線の特性を最適に利用する技術を確立することで、国内外で例のない中性子線育種を実用化した。 | | |
| 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | | | | | | | |
| 中性子線照射による生物資源育種サービス | 株式会社クオンタムフラワーズ&フーズ | | | | | | | |
| <概要> <u>中性子線照射による突然変異の誘発を利用し、生物資源の開発改良を行うサービス</u> 中性子線の特性を最適に利用する技術を確立することで、国内外で例のない中性子線育種を実用化した。 | | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">受賞製品・サービス名</th> <th style="width: 50%;">受賞者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>VUEVO</td> <td>ピクシーダストテクノロジーズ株式会社</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <概要> <u>誰が何を話しているかをリアルタイムで可視化し、聴覚障害者と聴者をつなぐサービス</u> 複数人の会話の場で、話した人の方向ごとに発話内容を即時テキスト化し、スムーズなコミュニケーションを実現する。 </td> </tr> </tbody> </table> | 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | VUEVO | ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 | <概要> <u>誰が何を話しているかをリアルタイムで可視化し、聴覚障害者と聴者をつなぐサービス</u> 複数人の会話の場で、話した人の方向ごとに発話内容を即時テキスト化し、スムーズなコミュニケーションを実現する。 | | |
| 受賞製品・サービス名 | 受賞者 | | | | | | | |
| VUEVO | ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 | | | | | | | |
| <概要> <u>誰が何を話しているかをリアルタイムで可視化し、聴覚障害者と聴者をつなぐサービス</u> 複数人の会話の場で、話した人の方向ごとに発話内容を即時テキスト化し、スムーズなコミュニケーションを実現する。 | | | | | | | | |